

国立研究開発法人国立がん研究センター理事会（令和4年度第12回）議事概要
日 時：令和5年3月24日（金）10：30～12：00
場 所：国立がん研究センター 管理棟 第一会議室 ※Webex 使用
出席者：中釜斉理事長、間野博行理事、児玉安司理事、北川昌伸理事、北川雄光理事、
本田麻由美理事、小野高史監事、近藤浩明監事、島田中央病院長、大津東病院長

I. 前回（令和4年度第11回）議事録の確認

- ・前回議事録について了承。
- ・前回議事録署名人を児玉理事と小野監事に依頼。

II. 審議事項

1. 令和5年度計画について 資料に沿って報告された。

【主な意見等】

- ・国のがん対策、がん医療の質向上への貢献も NCC の存在意義の一つであるが、医療の質評価について、評価手法の検討が不十分であると感じている。患者遺族調査等を継続して行っている点は大いに評価できるが、特に QI 等の医療の質については長らく研究されているが、これらの実装を急いでいただきたい。
- ご指摘いただいた通り、ロジックモデルの構築については当初案として提案しているが、今回第4期基本計画の中で、さらに強化していく。そのための指標・データの分析を進めながら全国的な医療の均てん化を進め、「誰ひとり取り残さない」という目標に資するような QI 設定に向け、尽力していきたい。

2. 新収益認識基準への対応について（最終報告） 資料に沿って報告された。

3. 臨床研究支援部門職員の待遇改善について 資料に沿って報告された。

4. 看護手当等の支給対象の拡大について 資料に沿って報告された。

5. 旅費規程改正（案）について 資料に沿って報告された。

6. 組織 COI 管理体制について 資料に沿って報告された。

【主な意見等】

- ・組織 COI 管理の対象が株式の取得・保有、出資、人事交流ということだが、逆に企業からの NCC に対する寄付金、研究費、あるいは理事長、理事、病院長等の上級役職者が企業から収入を得る場合も組織 COI は関わってくると思うが、そういった受け入れ側の組織 COI 管理についてはどのような対処を行うのか。
- 他施設のガイダンス資料等でも寄付の受け入れが組織 COI の管理対象となっていることが多いので、今後検討する。一方組織の上級役職者の組織 COI 管理については、既に NCC においては他職員と同じように COI 管理を行っている。そこで企業からの研究費受

け入れ等の対応も行っている。そのため今回は株式、人事交流等センター全体としての組織 COI 管理を優先的に議論させていただいた。

Ⅲ. 報告事項

1. PMO 業務の対応方針について

資料に沿って報告された。

2. 政府の会議の状況

資料に沿って報告された。

【主な意見等】

- ・全ゲノム解析事業について、令和7年の事業実施組織設置に向け JH（NC 横断的組織）の中で活動を進めていく。NCC 職員にも負荷がかかることになるが非常に意義がある事業である。進捗等については今後も理事会で報告する。

3. 広報実績等

資料に沿って報告された。

4. 兼業にかかる届け出様式の変更について

資料に沿って報告された。

5. メンタルヘルス相談体制の変更について

資料に沿って報告された。

6. 障害者雇用率について

資料に沿って報告された。

7. 投資委員会報告

資料に沿って報告された。

8. 2月分医業件数等

資料に沿って報告された。

【主な意見等】

- ・全体の損益計算書では、医業収支自体は黒字を維持しているが、医業外費用が膨らみ、経常収支を圧迫している。医業外費用の中でも「その他」の項目の増え方が突出している。この理由は何か。
 - 給与費、光熱費等の経費増の要因である。

理事会終了後、北川昌伸理事、児玉安司理事の退任に伴うご挨拶があった。